

令和 3 年 度

( 当 初 予 算 )

# 主 要 事 項 一 覧

総 務 部



主要事項  
政策部

(単位:千円)

事項名	地域情報化推進費	予算額	12,831	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	さがSociety5.0推進事業費	一般財源	12,831	133	政策チーム

1 目的 地域課題解決のため、県内に整備されている5Gの通信環境等を利用し、先進技術を活用した実証実験等を実施することにより、Society5.0の推進を図る。

2 背景 AI、IoT、自動走行車、ロボットなどの最新テクノロジーの活用により、少子高齢化、過疎化などの地域課題を解決し、県民が快適に暮らせる社会が到来しつつある。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
先進技術の普及・啓発	・対話型AI自動運転車いす(※)の実証実験 ・VRを体験できるイベントの開催	11,231
先進技術の活用検討	・Society5.0の理解促進及び地域の課題解決を目的とした研修の開催 ・先進技術の活用事例の研究	1,600
合計		12,831

※対話型AI自動運転車いす:音声対話機能を活用し、自動運転で目的地まで案内する先進的な車いす。

主要事項  
政策部

(単位:千円)

事項名	企画調整費	予算額	37,086	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 佐賀への誇り・愛着醸成事業費	一般財源	37,086	136	企画チーム

- 1 目的 日本近代化をけん引した偉人・大隈重信が100回忌を迎えることを契機に、大隈の功績を学び直し、「早稲田の聖地さが」とともに全国に発信することによりそのプレゼンスを高め、佐賀への誇りや愛着のさらなる拡大を図る。
- 2 背景 早稲田大学の創設や2度の総理就任だけでなく、日本初の鉄道開業、円の創設、統計の発展など大隈の数々の功績について、県民はもとより全国的に十分に認知させるためには、大隈重信の100回忌の年が絶好の機会である。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度(2021年度)  
(2)事業内容

区分	内容	予算額
大隈重信の功績の再認識	大隈重信を題材とした県内高校生等による演劇の上演	37,086
「早稲田の聖地さが」の認知度向上	早稲田大学関係者と県内の若年世代とのスポーツ交流	
全国への情報発信	大隈重信を題材としたドキュメンタリー番組等の制作及び発信	

主要事項

政策部・地域交流部・産業労働部・県土整備部

(単位:千円)

事項名	商工業対策推進活動事業費 港湾環境整備費 企業誘致環境整備事業費 景観整備費 街路調査費 公園整備費	予算額	67,729	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 まちづくり活動推進費 港湾環境整備費 県営産業用地造成事業費 まちなかKIZUKI推進事業費 街路調査費 公園整備費	一般財源	48,779	281・308・ 310・312・ 313・506	企画チーム、港湾課、企業立地課、都市計画課

- 1 目的 地域ならではの歴史や文化を活かし、人が集う心地よい公共空間の創出や、県民はもとより、訪れるお客様にも魅力的なまちづくりに取り組む、KIZUKIプロジェクトを推進する。
- 2 背景 地域の歴史や文化が感じられないまちづくりや、利用者が少ない公共空間などに対し、利活用の視点を大切に、地域ならではの価値や資源に気づき、活かすことにより、魅力とにぎわいのあるまちづくりに取り組む。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)  
(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳			担当課
			市負担金	県債	一般財源	
にぎわいの創出	・佐賀駅周辺:歩道空間創出のための社会実験等 ・唐津港 :みなと芝生広場整備のための概略設計等 ・鹿島駅周辺:肥前鹿島駅周辺整備構想策定等	24,360	4,300	5,000	15,060	港湾課 都市計画課
有効な県土の活用	産業用地創出に向けた基本計画策定	19,800	—	—	19,800	企業立地課
魅力を伝えるサインの整備	佐賀城公園のサイン整備	9,650	4,825	4,825	—	都市計画課
企画・情報発信	・情報発信やまちづくりフォーラム開催等経費 ・企画立案に要する経費	13,919	—	—	13,919	都市計画課 企画チーム
合計		67,729	9,125	9,825	48,779	

主要事項  
政策部(危機管理・報道局)

(単位:千円)

事項名	原子力防災対策強化事業費	予算額	141,627	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	原子力防災避難円滑化事業費	一般財源	0	54	危機管理防災課

1 目的 原子力緊急事態に備え、避難経路上のインフラを改善することにより、住民の避難又は一時移転を円滑にし、原子力防災対策の一層の充実・強化を図る。

2 背景 離島の港湾施設が被災した場合等に備え避難経路の多重化を図るため、全離島にヘリコプター場外離着陸場を整備する。

3 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和3年度(2020年度～2021年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳		実施主体
			国庫	一般財源	
インフラ改善	全離島における場外離着陸場(ヘリポート)の整備(補助率:10/10)	141,627	141,627	-	唐津市

※国の原子力災害時避難円滑化モデル実証事業における「原子力災害対策事業費補助金」を活用(事業期間3年以内)

主要事項  
総務部

(単位:千円)

事項名	私立学校運営費補助	予算額	17,355	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 私立学校魅力発信強化事業費	一般財源	17,355	336	法務私学課 (私立中高・専修学校支援室)

1 目的 私立高等学校が行う情報発信を支援することにより、県内外からの進学を促進し、学校の活性化及び県内における職業人材の確保を図る。

2 背景 少子化が加速し県内における中学校卒業者が減少する一方で、県外の高校への進学者は増加傾向にある。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
広報アドバイザーによる支援	・プレゼンテーションを向上させる研修の開催 ・広報戦略策定や効果的な情報発信に関する助言	8,355
学校の取組に対する補助	SNS・動画の活用など広報戦略に基づく新たな取組に対する補助 (補助率:2/3、補助上限額:300万円/校、対象:3校)	9,000
合 計		17,355

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	地域づくり推進費	予算額	24,598	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 さが自発のチャレンジモデル創出事業費	一般財源	2,852	149	さが創生推進課

1 目的 地域づくり団体が行う「自発の地域づくり」の取組を、専門家等によって更に磨き上げることにより、「自発の地域づくり」を牽引する先駆的モデルを創出する。

2 背景 県内各地域において、更に多くの人を惹きつけ発展する可能性を有する「自発の地域づくり」が取り組まれている。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)

(2)事業内容

区分	内容	予算額
「自発の地域づくり」の取組への支援	地域づくり団体が行う「自発の地域づくり」の取組に対する補助(補助率:9/10以内)	23,016
専門家等による伴走支援	専門家等のアドバイスによる取組の磨き上げ	1,582
合計		24,598

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む



主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	地域づくり推進費	予算額	21,924	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 地域の担い手マッチング事業費 山のネットワーク構築事業費	一般財源	18,292	149・150	さが創生推進課

- 1 目的 中山間地・離島・県境地域等(以下「中山間地域等」)に県内外から人を呼び込む仕組みを形成することにより、交流を創出し、関係人口の増加を図る。
- 2 背景 中山間地域等においては特に人口減少や高齢化が進行し、地域の担い手などコミュニティカの低下が深刻化しているため、中山間地域等の暮らしを守る取組を実施する。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)  
(2)事業内容

区分	内容	予算額	財源内訳	
			国庫	一般財源
地域の担い手確保	地方に関心を持つ若い世代と担い手が不足している地域のマッチングを支援	6,100	-	6,100
山のネットワーク構築	・山の役割等について語り合う場として「山の会議(仮)」の開催 ・山の取組や魅力を県内外に対し情報発信 ・地域課題の解決や自発の地域づくり活動に繋げる山活(山での活動)サポーター(地域おこし協力隊)を雇用	15,824	3,632	12,192
合計		21,924	3,632	18,292

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	移住促進事業費	予算額	116,637	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 移住促進事業費 「テレワーク移住」促進事業費	一般財源	78,133	136	さが創生推進課 (移住支援室)

1 目的 人口減少が加速する中、移住支援・促進の取組を強化することにより、本県への新しい人の流れをつくり、地域に新しい活力を創出する。

2 背景 新型コロナウイルス感染症の拡大により、地方への関心が高くなっていることから、移住促進のための取組を強化する。

3 事業内容 (1)事業期間 平成27年度～(2015年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
移住希望者等への情報発信	・移住体験ツアーの実施や動画を活用した移住者による佐賀で叶える豊かな暮らしの魅力発信 ・東京圏、福岡都市部等へ向けたWEB等による情報発信	46,900
移住希望者の相談対応	・さが移住サポートデスク(東京)の体制強化 ・市町と連携した移住相談会・セミナーの開催 等	59,855
テレワーカーの移住体験への支援	テレワークを体験するための滞在費用に対する補助 (補助率:3/4、補助上限額:30万円/人)	6,500
移住者等への支援	・移住者と地域住民等の交流のための「移住者の集い」の開催 ・移住希望者に対するレンタカー代金の助成 等	3,382
合 計		116,637

主要事項

地域交流部・産業労働部・警察本部

(単位:千円)

事項名	国際交流推進事業費 SAGAスポーツピラミッド構想推進費 文化振興事業費 スポーツイベント等開催推進事業費 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー実施費 産地再生支援事業費 一般警察活動費	予算額	423,796	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 東京オリパラホストタウン交流事業費 SSPトップアスリート育成好循環創出事業費 東京オリパラ文化プログラム推進事業費 国際大会事前キャンプ誘致推進事業費 国際大会事前キャンプ誘致推進事業費(令和2年度国3次補正) 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー実施費 オリパラ大会さが県産品との出会い創出事業費 東京2020オリンピック聖火リレー警備実施費	一般財源	250,600	132・138・ 139・278・ 324・364	国際課、SAGAスポーツピラミッド推進グループ、文化課、スポーツ課、流通・貿易課、警備第二課

- 1 目的 東京2020大会の開催を契機として、事前キャンプの受入れやホストタウン相手国との交流等を通じ、国内外に向けて佐賀の魅力を発信するとともに、大会開催後も、ホストタウン相手国等との良好な関係性を、末永く未来に向けて継続・発展させていく。
- 2 背景 これまでの交流等により築いてきた良好な関係性を、佐賀の未来の発展へとつなげることが大切であるため、東京2020大会を契機に、ホストタウン相手国との多様な交流を行うことで相互理解を深め、未来に向けて継続・発展させる取組を継続する。
- 3 事業内容 (1)事業期間 平成28年度～(2016年度～)  
(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳			担当課
			国庫	基金	一般財源	
オリパラ事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた事前キャンプの受入れ、受入れに伴う感染対策の実施	243,361		137,815	105,546	スポーツ課
	オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルの実施	57,398			57,398	スポーツ課、警備第二課
交流の深化	青少年交流、大使館でのPRイベント、文化プログラム、佐賀ゆかり選手の応援事業実施	108,037	28,057		79,980	国際課、SAGAスポーツピラミッド推進グループ、文化課
県産品の魅力発信	東京都メディアセンターで開催される伝統工芸品等のPR・販売イベントへの出展	15,000	7,324		7,676	流通・貿易課
合計		423,796	35,381	137,815	250,600	

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	新幹線対策費	予算額	50,403	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	長崎本線沿線地域振興事業費	一般財源	25,402	31	交通政策課

1 目的 鹿島・太良地域等における地域の魅力づくりや観光列車による観光促進等を支援することにより、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

2 背景 令和4年秋の九州新幹線西九州ルートの開業により、特急列車の本数が大幅に減少することで影響を受ける鹿島や太良などの長崎本線沿線地域の振興を図る。

3 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～(2019年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳	
			国庫	一般財源
地域の魅力づくり	宿泊事業者と連携した体験商品(着地型観光商品)の販売促進等	13,703	6,851	6,852
鉄道を活用した観光促進	肥前浜駅の交流スペース「HAMA BAR」を活用した市町・NPOの取組への支援等	5,700	2,650	3,050
周遊観光の促進	・シェアサイクルの活用 ・散策ルート(肥前浜宿・祐徳門前間)の美装化	31,000	15,500	15,500
合計		50,403	25,001	25,402

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	交通体系整備促進費	予算額	30,732	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 MaaS観光利用実証事業費	一般財源	30,732	136	交通政策課

1 目的 MaaS(※)アプリを活用して公共交通を利用しやすい環境を提供することにより、公共交通の観光利用を促進する手法とその効果を検証する。

2 背景 観光客等の公共交通の利用を促進するための手法を検証する。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
MaaSアプリの導入実証	アプリを活用した、公共交通利用中心の周遊ルートの提案や効果的な情報発信等を検証	22,945
企画乗車券の開発支援	路線バス事業者による企画乗車券の開発支援等	7,787
合計		30,732

※MaaS

Mobility as a Serviceの略で、ICTの活用により複数の公共交通やそれ以外の移動サービス(シェアサイクル等)を最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括して行うサービス。関連サービス(観光チケットの購入等)を組み合わせることも可能。

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	(特別会計)港湾機能施設建設費	予算額	650,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	港湾機能施設建設費	一般財源	0	542	港湾課

1 目的 伊万里港のガントリークレーンを増設(2基目)するとともに、バンプールを整備することにより、コンテナ貨物取扱量の更なる増加を図り、地域の幅広い産業活動を支援する。

2 背景 伊万里港のコンテナ貨物取扱量の増加に対応するため、荷役体制を強化し、作業効率を向上させる。

3 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～令和4年度(2019年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	年度別事業費				合計
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
荷役機械整備	ガントリークレーン仕様書作成	14,000	-	-	-	14,000
	ガントリークレーン製作・設置工事	-	20,000	(500,000)	(466,000)	(966,000)
ふ頭用地整備	バンプール整備	-	-	150,000	-	150,000
合計		14,000	20,000	650,000	466,000	1,150,000

※上段( )書きは債務負担行為設定額で内数

※ガントリークレーン・・・3万トン級以下のコンテナ船荷役に対応しており、30個以上/時間の取扱いが可能。

※バンプール・・・空コンテナ置き場。

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	SAGAスポーツピラミッド構想推進費 SSPトップアスリート育成好循環創出施設整備事業費	予算額	454,490 (継続費)578,821	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	SSPアスリート“夢”パートナー事業費 SSPアスリート“夢”パートナー(ホープ)事業費 SSPトップアスリート育成好循環創出事業費 SSPトップアスリート育成好循環創出施設整備事業費 SSP野球育成・強化プロジェクト推進事業費 (継続費)SSPトップアスリート育成好循環創出施設整備事業費	一般財源	195,358 (継続費)1,821	138・365 (その1)11	SAGAスポーツピラミッド推進グループ、スポーツ課

- 1 目的 SSP構想基本方針に基づき、世界に挑戦する佐賀ゆかりのアスリートを育成し、選手引退後は佐賀に戻り指導者として、次世代のアスリート育成につながる好循環を確立し、スポーツの力を活かした人づくり、地域づくりを推進する。
- 2 背景 アスリート育成の好循環を創出するため、「人材育成」「就職支援」「機運醸成」「練習環境の充実」を一体的に推進する。
- 3 事業内容 (1)事業期間 平成31年度～(2019年度～)  
(2)事業概要

区分	内容	令和3年度			令和4年度			合計	
		予算額	財源内訳		予算額	財源内訳			
			国庫等	県債		一般財源	県債		一般財源
人材育成	・スポーツエリートアカデミーSAGA (SEAS)における選手・指導者の育成 ・世界大会等で活躍している選手を認定し支援 ・県内小・中・高生への野球の普及及び競技力向上	226,978	63,146	-	-	163,832	-	-	226,978
就職支援	SSPアスリートジョブサポのマッチングによる県内企業等への就職支援	7,671	3,729	-	-	3,942	-	-	7,671
機運醸成	多分野の民間の知見や手法を活かしたスポーツを「支える」基盤づくり	41,631	15,257	-	-	26,374	-	-	41,631
練習環境の充実	鳥栖工業高校レスリング場の整備	(178,193) 178,210	-	(177,000) 177,000	(1,193) 1,210	(400,628) 400,628	(400,000) 400,000	(628) 628	(578,821) 578,838
合計		(178,193) 454,490	- 82,132	(177,000) 177,000	(1,193) 195,358	(400,628) 400,628	(400,000) 400,000	(628) 628	(578,821) 855,118

※上段( )書きは継続費設定額で内数

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	市村記念体育館利活用事業費	予算額	56,964	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	市村記念体育館利活用推進事業費	一般財源	28,882	139	文化課

- 1 目的 市村記念体育館の将来的な利活用を図るため、利活用基本計画を策定する。
- 2 背景 市村記念体育館は、文化・芸術施設等が集積している城内エリアに位置していることから、このエリアの価値と調和し、文化芸術活動などを通じて佐賀の未来を創造する拠点として、新たな利活用を目指している。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～(2019年度～)  
(2)事業概要

内 容	予算額	財源内訳	
		国庫	一般財源
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用基本計画の検討に必要な助言を行う委員会の開催</li> <li>・施設の運営方針・運営計画等の利活用基本計画の策定</li> <li>・施設の劣化状況等の確認・整理、実測図の作成</li> <li>・PPP/PFI手法(※)導入に向けた要求水準書(仕様書)等の作成</li> </ul>	56,964	28,082	28,882

※PPP/PFI手法:民間の資金と経営能力・技術を活用し、公共施設等の設計・建設・運営などを行う公共事業の手法。



主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	文化振興事業費 名護屋城博物館施設設備整備費	予算額	142,347 (債務負担)80,270	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 「肥前名護屋」文化資源利活用推進事業費 「黄金の茶室」制作・活用事業費 屋外常設展示施設再整備事業費 (債務負担行為)屋外常設展示施設再整備事業費	一般財源	93,747 (債務負担)80,270	138・358 (その1)13	文化課

1 目的 特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」及び名護屋城博物館を文化観光の拠点として磨き上げることにより、唐津エリアにおける地域振興の好循環を創出する。

2 背景 文化観光を通じた唐津エリアの地域活性化に資する「名護屋城跡並びに陣跡」の利活用推進と、活用を見据えた保存整備が求められている。

3 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

区分	内容	令和3年度			令和4年度	全体 予算額	担当課	
		予算額	財源内訳		予算額			
			国庫等	県債				一般財源
誘客プロモーション等	・名護屋城で諸大名が催した茶会をイメージしたイベント等の開催 ・「黄金の茶室」の復元・体験イベントの開催等	101,493	33,600	-	67,893	-	101,493	文化課
屋外展示施設の再整備	陣跡周遊の起点となる「木下延俊陣跡」の再整備	40,854	-	15,000	25,854	80,270	121,124	名護屋城博物館
合計		142,347	33,600	15,000	93,747	80,270	222,617	

債務負担行為限度額

(3)債務負担行為を設定する理由

再整備について、令和3～4年度の複数年度にわたるため、債務負担行為を設定するもの。

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	県立博物館施設整備費	予算額	221,708	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	九州陶磁文化館グローバル化推進事業費	一般財源	2,708	359	文化課

1 目的 九州陶磁文化館の展示内容を外国人にも分かりやすいものに磨き上げるにより、有田焼をはじめとする本県が誇るやきもの文化の魅力や価値を国内外に発信する。

2 背景 2022年の佐賀・長崎デスティネーションキャンペーンを控え、新型コロナウイルス感染症収束後の欧米からの来訪拡大が期待される中、九州陶磁文化館をグローバルな文化観光の拠点として活用した地域活性化が求められている。

3 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和3年度(2020年度～2021年度)

(2)事業概要

内 容	予 算 額
・外国人にも有田焼の価値が伝わる展示内容に常設展示を更新 ・多言語解説の充実、案内サインの整備 等	221,708

※令和2年度に、常設展示の更新に係る設計を実施

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	スポーツイベント等開催推進事業費	予算額	8,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 アウトドアアクティビティ創出支援事業費	一般財源	8,000	139	スポーツ課

1 目的 唐津の海をはじめとした本県の豊かな自然を活用し、OPEN-AIRで楽しめるアウトドアアクティビティを創出することにより、地域の魅力を高めて交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげる。

2 背景 まだ十分に活用できていない佐賀の自然を、より魅力ある資源として地域の賑わいづくりに活用するために、年齢や性別を問わず誰もが気軽に楽しめるような環境を創出する。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
コンテンツの充実	・コンテンツの磨き上げ及び新規コンテンツの発掘 ・受入体制の強化及び有識者を活用した人材育成	3,080
県民の利用促進	自然資源を活用したイベントの開催 等	4,920
合 計		8,000

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	新規	SAGAサンライズパーク整備事業費 SAGAアリーナコンベンション等誘致推進事業費	予算額	23,206,675 (継続費)728,130	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規	SAGAサンライズパーク整備事業費 SAGAアリーナコンベンション等誘致推進事業費 (継続費)SAGAサンライズパーク整備事業費	一般財源	135,502 (継続費)1,150	138・365 (その1)11	SAGAサンライズパーク整備推進課 SAGAスポーツピラミッド推進グループ

- 1 目的 SAGA2024国スポ・全障スポの開催を契機として、県民の夢や感動を生み出すスポーツの一大拠点の形成を図るとともに、スポーツ・文化など様々な活動を通じて地域の活力を生み出し、新たな佐賀県の未来を切り拓く「さが躍動」の象徴的なエリアになることを目指す。
- 2 背景 SAGA2024国スポ・全障スポを2024年に本県で開催するため、大会に必要な施設はもとより、その後の新たな交流を創出する機能も見据えた施設を整備する。
- 3 事業内容 (1)事業期間 平成29年度～令和4年度(2017年度～2022年度)  
(2)事業概要

区分	内容	年度別事業費					担当課
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体	
施設整備	継続費	(892,571) 892,571	(13,013,235) 13,013,235	(22,761,048) 22,761,048	(10,963,517) 10,963,517	(47,630,371) 47,630,371	SAGAサンライズパーク整備推進課
	【令和元年度から継続して実施するもの】 アリーナ・防災拠点施設新築工事 水泳場(50m、飛込)新築工事等	(892,571) 892,571	(12,509,949) 12,509,949	(18,683,517) 18,683,517	(8,273,259) 8,273,259	(40,359,296) 40,359,296	
	【令和2年度から継続して実施するもの】 陸上競技場雨天走路増築・諸室改修工事 ペDESTリアンデッキ新築工事等		(503,286) 503,286	(3,707,903) 3,707,903	(2,331,756) 2,331,756	(6,542,945) 6,542,945	
	【令和3年度から新たに実施するもの】 25m水泳場改修工事等			(369,628) 369,628	(358,502) 358,502	(728,130) 728,130	
	単年度	第二補助競技場多目的広場整備及び出入口改修工事等			307,586		
	陸上競技場備品購入等			130,741		130,741	
利活用促進	SAGAアリーナへのコンベンション等誘致活動の促進			7,300		7,300	SAGAスポーツピラミッド推進グループ
合計		(892,571) 892,571	(13,013,235) 13,013,235	(22,761,048) 23,206,675	(10,963,517) 10,963,517	(47,630,371) 48,075,998	

※上段( )書きは継続費設定額で内数

(3)継続費を設定する理由

25m水泳場改修工事等について、令和3年度～4年度の複数年度にわたって契約する必要があるため継続費を設定するもの。

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	SAGA2024開催事業費 ヨットハーバー施設設備整備費	予算額	1,843,252	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 SAGA2024開催準備事業費 SAGA2024市町準備経費補助 SAGA2024市町有施設整備事業費補助 SAGA2024県有競技施設整備費 ヨットハーバー施設整備費(国スポ関連)	一般財源	1,128,252	140・365	SAGA2024総務企画課 SAGA2024競技式典課 SAGA2024施設調整課 SAGAサンライズパーク整備推進課

- 1 目的 SAGA2024国スポ・全障スポへ向けた準備を推進する。
- 2 背景 大会準備を着実に進めるとともに、国体から国スポに変わる最初の大会として、スポーツのすばらしさを追求した、新しい大会の実現を目指す。
- 3 事業内容 (1)事業期間 平成26年度～令和6年度(2014年度～2024年度)  
(2)事業概要

区分	内容		予算額		
開催準備事業	大会開催に向けた準備及び運営体制の整備 式典準備事業、新しい大会の実現に向けた取組等		196,780		
市町準備経費補助	新しい大会の実現に向けた市町の取組に対する補助 補助率:2/3、補助対象者:国民スポーツ大会の競技会を実施する市町(20市町)		17,635		
市町有施設整備事業費補助	競技会場となる市町有施設の整備に対する補助(16市町21施設)		885,701		
	市町名	施設名		市町名	施設名
	佐賀市	ボート・カヌー競技施設(新設)		神埼市	中央公園体育館(改修)
	唐津市	文化体育館(改修)ほか2施設(改修)		基山町	総合体育館(改修)ほか1施設(改修)
	鳥栖市	市民体育館(改修)		みやき町	中原体育館(改修)
	多久市	弓道場(新設)		玄海町	社会体育館(改修)
	伊万里市	国見台球技場(新設)ほか1施設(改修)		有田町	赤坂球場(改修)
	武雄市	野球場(新設)		大町町	ひじり学園後期体育館(改修)
	鹿島市	市民球場(改修)ほか1施設(改修)		白石町	多目的運動広場(改修)
	嬉野市	みゆき球場(改修)		太良町	B&G海洋センター運動広場(改修)
県有競技施設整備費	競技会場となる県有施設の整備(6施設)		743,136		
	所在地	施設名		整備内容	
	佐賀市	佐賀県射撃研修センター		スキート屋根工事・ブローラーハウス移設工事(改修)	
		佐賀県警察学校		施設機器メンテナンス(改修)	
	唐津市	唐津工業高等学校		照明工事(改修)	
		佐賀県ヨットハーバー		艇置場及びスロープ工事(改修)	
多久市	多久高等学校	スポーツライミング施設の整備(新設)			
伊万里市	伊万里実業高等学校	ホッケー場施設の人工芝の整備(新設)			
合計			1,843,252		

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	SAGA2024開催事業費	予算額	10,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 佐賀・鹿児島エールプロジェクト推進事業費	一般財源	10,000	140	SAGA2024総務企画課

1 目的 佐賀・鹿児島両県におけるスポーツの交流をはじめとした様々な交流を深化させ、その“絆”を未来につなげていく。

2 背景 2023年の鹿児島国体・全障スポ、2024年の佐賀国スポ・全障スポ両大会の開催年の延期を契機として、両県の様々な交流を深化させ、両大会において、互いのアスリートが互いの県民から温かく迎えらるる環境を創出するとともに、この“絆”を未来につなげていく。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

鹿児島県と同額の予算措置を行い、下記事業に取り組む。

区分	内容	予算額
アスリートの交流	・ジュニアアスリートの交流試合 ・障がい者アスリートの交流試合 等	6,050
県民の交流	・中学生修学旅行の交流促進 ・SAGATOCOアプリへの鹿児島コースの追加 等	1,410
産業・文化の交流	・県産品の販売促進(酒、焼酎等) ・企業間の交流促進 等	1,650
TEAM(行政、団体等)の交流	・市町の交流 ・競技団体の交流 ・プロジェクトの広報 等	890
合 計		10,000

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	観光連盟補助	予算額	74,020	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	観光連盟補助(佐賀・長崎DC推進事業費)	一般財源	74,020	290	観光課

1 目的 令和4年秋に開催予定の「佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン(※)」において、佐賀県全域の魅力を全国へ発信することにより、観光客の誘客促進及び地域の活性化を図る。

2 背景 キャンペーンの実施に向けて、誘客宣伝対策や受入体制整備等に取り組む。

3 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
佐賀・長崎DC実行委員会負担金	・全国宣伝販売促進会議開催費 ・プロモーションツール、HPの制作経費等	31,400
佐賀DC推進協議会負担金	・各地への営業、PRイベント経費 ・事務局の運営経費等	27,620
観光素材の磨き上げ	体験商品等の着地型旅行商品の造成等	15,000
合計		74,020

※:デスティネーションキャンペーン(DC)

JRや観光関係団体等と地元自治体が協働で、JRの広告媒体等を活用した全国的な情報発信を行うとともに、大手旅行会社等とも連携し旅行商品造成・販売を行う観光キャンペーン。

主要事項  
地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	観光振興事業費	予算額	20,668	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	サイクルツーリズム推進事業費	一般財源	20,668	290	観光課

- 1 目的 サイクルツーリズムの魅力発信と受入環境の整備を一体的に行うことにより、誘客を通じた新たな交流の創出、地域活性化を図るとともに、「歩くライフスタイル(※)」の推進につなげる。
- 2 背景 サイクルツーリズムの推進により、新たな観光コンテンツを創出することで、より多くの人々が佐賀を自転車で楽しむ仕組みを構築し、自転車活用の推進を図る。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)  
(2)事業概要

区分	内容	予算額
魅力づくり、受入環境の整備	・レンタサイクルの導入、旅行商品造成への補助 ・サイクルイベント開催に要する費用への補助 ・サイクルラック等の設置等	12,800
情報発信	雑誌やWeb等での情報発信	6,968
九州各県連携負担金	九州各県と連携して広域的に取り組む情報発信、旅行商品造成等	900
合計		20,668

※歩くライフスタイル: 歩くきっかけや楽しさを提案するとともに、自転車や公共交通の利用を促進することにより、自家用車に依存し過ぎたライフスタイルからの転換を促し、人的交流の活性化を通じた地域の魅力向上と生活の質の向上を図る取組。



主要事項  
県民環境部

(単位:千円)

事項名	人にやさしいまちづくり推進事業費	予算額	22,533	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	さがすたいるプラス事業費	一般財源	0	167	県民協働課

1 目的 お年寄りや障がいのある方、子育て・妊娠中の方等、誰もが安心して外出できる、人にやさしいまちのスタイル「さがすたいる」を更に広げていくため、様々な困りごとを抱える人に対する理解を深める機会を創出する。

2 背景 県民一人ひとりが、同じところ・違うところもあるという多様性を当たり前のこととして受け入れ、お互いの理解を深めていくことが求められている。

3 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～令和4年度(2019年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
新しいつながりの創出	・さがすたいるコンベンション(仮称)の開催 ・佐賀さいこうフェスと連携した企画の運営 ・VR(ヴァーチャル・リアリティ)装置による当事者視点の疑似体験	12,533
店舗・施設的环境整備支援	県内店舗のバリアフリー化や子どもの受入れ環境の整備に対する補助(補助率1/2、補助上限額50万円)	10,000
合計		22,533

主要事項  
県民環境部

(単位:千円)

事項名	交通安全対策費	予算額	59,850	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	交通事故ワースト脱却推進プロジェクト事業費	一般財源	59,850	134	くらしの安全安心課 (交通事故防止特別対策室)

1 目的 県民一人ひとりが、「交通事故ゼロ」を自らの課題として認識し、デザインの力によって行動変容を促す  
「SAGA BLUE PROJECT」を展開することにより、交通安全に対する県民の意識改革を図る。

2 背景 令和2年中は、人身交通事故件数は減少しているものの、33人もの尊い人命が交通事故で奪われるなど、引き続き厳しい状況にある。

3 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～(2019年度～)

(2)事業概要

内 容	予 算 額
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者へのSNSやキャラクターを活用した情報発信</li> <li>・高齢者への交通事故の実例を踏まえた交通安全の啓発</li> <li>・テレビ・ラジオ・WEB等による広報</li> <li>・高齢者、新小学1年生及び新中学1年生への啓発グッズの配付 (反射材、ランドセルカバー、自転車用反射材)</li> </ul>	59,850

主要事項  
県民環境部

(単位:千円)

事項名	自然公園等維持管理費	予算額	7,360	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 九州自然歩道Webシェルパ事業費	一般財源	7,360	204	有明海再生・自然環境課

- 1 目的 佐賀の魅力ある自然公園を經由する九州自然歩道佐賀県ルートの利用促進を図ることにより、地域の活性化につなげる。
- 2 背景 新型コロナウイルス感染症を契機にライフスタイルが変化し屋外で活動するニーズが高まる中、登山志向も変化し、近場・単独での登山が可能なコースに関する情報へのニーズが高まっている。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)  
(2)事業概要

内 容	予算額
九州自然歩道を中心としたホームページによる情報発信 ・自然公園のPR、モデルコースの紹介 ・ストリートビュー、ルートマップ、危険個所の掲載 ・景勝地の説明や目的地に合わせた季節ごとに必要な装備の解説 ・補給地や休憩所に関する情報	7,360

※Webシェルパ(案内人):九州自然歩道や自然公園の利用者に対して、安全に自然と触れ合うことができるよう、ホームページ上で案内人として情報発信を行うこと。

主要事項

県民環境部・農林水産部

(単位:千円)

事項名	北山国民休養地施設整備費 21世紀県民の森総合整備事業費	予算額	93,100	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 新規 OPEN-AIR佐賀・北山国民休養地施設整備費 OPEN-AIR佐賀・21世紀県民の森環境整備事業費	一般財源	16,100	205・259	有明海再生・自然環境課 森林整備課

1 目的 本県の豊かな自然を活かし大空のもと多彩な自然体験などを楽しむスタイル「OPEN-AIR佐賀(※)」を推進することにより、県民の利用はもとより近県からの交流人口の増加を図る。

2 背景 波戸岬キャンプ場では施設の魅力化が図られたことにより、利用者の増加や地域経済への波及効果が広がり、また、新型コロナウイルス感染症を契機にライフスタイルが変化し屋外で活動するニーズが高まっている。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	担当課
北山キャンプ場	基本設計、実施設計 等	61,100	有明海再生・自然環境課
21世紀県民の森	・リモートワーク等に必要なWi-Fi環境の整備 ・施設改修に係る実施設計	32,000	森林整備課
合計		93,100	

※:OPEN-AIR佐賀

佐賀の様々な魅力を体験できる、感染リスクの少ない観光スタイル、多彩な自然体験、新たな生活スタイル、場所や時間が自由になる働き方などを発信し、交流人口の増加等につなげる取組。

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	生活困窮者自立支援事業費	予算額	4,200	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 生活困窮者一時生活支援事業費	一般財源	1,400	170	福祉課

1 目的 住居がない又は住居を失う恐れのある生活困窮者に対し、一定期間、宿泊場所や食事を提供することにより、生活困窮者の自立を図る。

2 背景 既存の制度では、住居喪失者に対する支援が難しく、対応が困難な事例も発生しているため、当該事業を実施する。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

内 容	予算額	財源内訳	
		国庫	一般財源
生活困窮者に対する宿泊場所や食事の提供 (支援窓口)佐賀県生活自立支援センター (対象期間)原則3か月を超えない期間 ※ただし、県が必要と認める場合は6か月まで延長可	4,200	2,800	1,400

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	社会福祉施設災害対応費	予算額	12,372	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 「いのちを守る」福祉施設災害対応力向上事業費	一般財源	12,372	170	福祉課

1 目的 社会福祉施設において、災害発生時に職員や入所者等が適切な避難行動を取ることができるよう、避難計画の見直しや災害対応用品等を整備することにより、災害対応力の向上を図る。

2 背景 近年、自然災害が激甚化している状況を踏まえ、社会福祉施設における大雨(浸水リスク)や暴風(停電リスク)時に機能する災害時の備えを充実させる。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
避難計画の見直し支援	・避難計画の内容や体制を見直すための専門家の派遣 ・実践的な避難訓練の実施 ・研修会の開催、リーフレット配布	9,372
災害対応用品等の購入支援	災害対応用品等の購入に対する補助(補助率:1/2) (補助対象用品等の例) ・垂直避難対策:ストレッチャー等の移送具 ・停電対策:非常用電源 ・水害対策:ゴムボート	3,000
合計		12,372

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	社会福祉士及び介護福祉士修学資金貸付事業費補助 地域ケア推進事業費	予算額	75,002	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 介護福祉士修学資金等貸付事業費補助 新規 介護の仕事魅力発信事業費 新規 介護の仕事体験事業費 新規 将来を担う介護人材の支援事業費 新規 将来を担う介護人材の支援事業費	一般財源	5,254	170・175	福祉課 長寿社会課

- 1 目的 「佐賀の若者が、佐賀の介護を支える」ことを目指し、若年層の介護への関心を高めるとともに、福祉系高校での資格取得及び介護職への参入・定着を支援することにより、将来の介護現場を担う人材を確保する。
- 2 背景 高齢者の増加や生産年齢人口の減少が進む中、介護人材を安定的に確保する。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)  
(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳		担当課
			基金	一般財源	
介護職のイメージアップ・関心喚起	・中高生を対象とした介護に関するテレビCMの放映、HP等の作成 ・小中学生を対象とした仕事体験イベントの開催【新規】 ・体験談などを交えた福祉系高校のPR冊子の作成	36,643	36,643	-	長寿社会課
資格取得のための支援	・福祉系高校の生徒に対する実習経費助成 ・介護福祉士養成課程実施高校の生徒に対する通学費支援【新規】 補助額: 毎月の通学費が5千円を上回る額	17,359	12,105	5,254	長寿社会課
	・介護福祉士養成課程実施高校の生徒に対する就職準備金等の貸付【新規】 貸付額: 就職準備金 20万円、国家試験受験対策費用 4万円(年額) ※3年間、県内で介護業務に従事した場合、全額免除	18,000	18,000	-	福祉課
介護職への参入・定着	・他業種で働いていた者が介護分野に就職した際の支援金貸付【新規】 貸付額: 就職支援金 20万円 ※2年間、県内で介護業務に従事した場合、全額免除	3,000	3,000	-	福祉課
合計		75,002	69,748	5,254	

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	重度障害者地域生活重点支援事業費補助	予算額	4,444	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 医療的ケア児安心・安全な在宅生活サポート事業費	一般財源	4,444	172	障害福祉課

1 目的 医療的ケア児の家族が、在宅生活における困りごとや悩みを相談する窓口を設置することにより、医療的ケア児の支援の充実を図る。

2 背景 医療的ケア児の家族は経済的・精神的な負担が大きいことから、医療的ケア児やその家族が在宅生活を送る上での支援を充実させる。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
相談窓口の設置	保護者等が抱える悩みや困りごとの実態把握及び相談窓口の開設	4,049
支援情報の周知	在宅生活に役立つガイドブックの作成・配布	395
合計		4,444

※医療的ケア児:NICU等に長期入院した後、引き続き、人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な障害児のこと。



主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	重度心身障害者医療助成費	予算額	810,588	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	重度心身障害者医療助成費補助	一般財源	810,588	173	障害福祉課

- 1 目的 重度心身障害者の福祉の向上を図るため、重度心身障害者に係る医療費の自己負担額を助成する。
- 2 背景 三障害を一元的に取り扱ふと定めた法の趣旨等に基づき、助成対象を精神障害者まで拡充し、経済的負担を軽減する。
- 3 事業内容 (1)事業期間 昭和50年度～ (令和3年度から拡充)  
(2)事業概要

内容	助成対象	補助率	予算額
医療費助成を行う市町に対する補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障害者手帳1級及び2級の者</li> <li>・知能指数35以下の者</li> <li>・身体障害者手帳3級かつ知能指数50以下の者</li> <li>・精神障害者保健福祉手帳1級の者【拡充】</li> </ul>	市町が助成する額の1/2以内	810,588

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	県立社会福祉施設設備整備費	予算額	438,986	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	点字図書館改築事業費	一般財源	48,986	177・178	障害福祉課

1 目的 点字図書館をリニューアルし、相談支援等の機能を強化することにより、視覚障害者の自立や社会経済活動への参加促進を図る。

2 背景 点字図書館の利便性向上のため、建物の改築とともに、利用者やボランティアの方などの意見を反映し、機能を強化する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～令和3年度(2019年度～2021年度)

(2)事業概要

区分	内容	年度別事業費		
		令和2年度	令和3年度	全体
施設整備	点字図書館新築工事、工事監理等	(28,274) 29,473	(314,198) 315,848	(342,472) 345,321
	護岸の設計・工事	- 12,881	- 33,660	- 46,541
	外構工事	- -	41,470	41,470
その他	移動書架の設置、備品購入等	(1,068) 2,168	(16,470) 48,008	(17,538) 50,176
合計		(29,342) 44,522	(330,668) 438,986	(360,010) 483,508

※上段( )書きは継続費設定額で内数

※新点字図書館の概要

所在地:佐賀市天神一丁目4-16(現地建替)  
 建築面積:356.14㎡  
 建物:木造2階建て 延床面積 589.29㎡  
 開館予定:令和4年4月

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	地域医療従事医師確保対策事業費	予算額	45,228	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 医師育成・定着促進事業費	一般財源	0	213	医務課 (医療人材政策室)

- 1 目的 地域の医療提供体制を維持し、県民に必要な医療を提供するため、医師の県内定着と地域間・診療科間の偏在の緩和・解消を図る。
- 2 背景 高齢化の進展に伴い医療需要が増加する一方、若手医師の県外流出が続けば、医療提供体制を維持できなくなることから、本県の医療を担う若手医師を早急に育成・定着させる。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)  
(2)事業概要

内 容	予算額
医師育成・定着促進支援センター(仮称)の設置 (場所) 佐賀大学医学部 (センターの機能) ・佐賀大学医学部の専任教員等による、医師・学生に対するキャリアコンサルティング ・医師・学生への卒前・卒後一貫した教育プログラムの企画・実施 ・地域の医療を担う医師の育成・定着のための調査・研究 ・学生、医師、医療機関等のネットワークの構築 等	45,228

※財源は地域医療介護総合確保基金を活用

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	新型コロナウイルス感染症対応医療提供体制強化事業費	予算額	11,369,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新型コロナウイルス感染症対応医療提供体制強化事業費(令和2年度国3次補正)	一般財源	0	214	医務課

1 目的 新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するため、県民が医療機関・宿泊療養施設で治療・療養できる環境を整備するとともに、通常の救急医療提供体制を確保し、本県の医療提供体制の強化を図る。

2 背景 県民の命を守るため、新型コロナウイルス感染症に対応する医療と通常の医療を両立させる。

3 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和3年度(2020年度～2021年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
重症・中等症患者の医療体制の確保	・受入可能病床数を確保するための空床補償 ・感染症患者の受入れに必要な医療用物資の確保 ・患者の状態に応じて搬送先を調整する体制の確保 ・クラスター発生施設等への医療チームの派遣	10,131,000
軽症・無症状者の宿泊療養体制の確保	宿泊療養施設の確保・運営	1,233,000
通常の救急医療体制の確保	通常の救急医療提供体制を守るため、感染症専門家を医療機関に派遣し、院内感染防止対策を強化	5,000
合計		11,369,000

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	健康づくり推進事業費	予算額	15,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	さが健康維新県民運動推進事業費	一般財源	15,000	192	健康増進課

- 1 目的 生活習慣病の増加を抑制し、県民の「元気で長生き」(健康寿命の延伸)を目指すため、歯科健診の受診と野菜摂取の習慣の定着を図る。
- 2 背景 糖尿病(予備群を含む)の割合が全国ワースト、メタリックシンドローム該当者の増加率が全国ワースト2位であることから、生活習慣を改善していく。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)  
(2)事業概要

区分	内容	対象者	予算額
歯と口の健康	歯科健診の受診勧奨 ・歯科健診強化月間におけるワンコイン歯科健診の実施 ・ポスターやチラシによる普及啓発 ・相互作用がある歯周病と糖尿病患者への受診勧奨	働き盛り世代 糖尿病予備群 糖尿病患者	7,000
食と栄養	食事の際、まず野菜から食べること、野菜摂取量を増やすことの情報発信 ・絵本やキャラクターを活用した普及啓発 ・企業と連携したイベントの開催 ・SNSを活用した野菜のレシピ提案やイベント情報の発信	子ども世代 働き盛り世代	8,000
合計			15,000

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	新規 がんゲノム医療体制整備事業費	予算額	10,695	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	がんゲノム医療体制整備事業費	一般財源	10,695	194	健康増進課 (がん撲滅特別対策室)

1 目的 確立した治療法がない難治性がん・希少がん患者等の治療の選択肢を広げるため、がんゲノム医療提供体制を強化する。

2 背景 がん細胞に起きている遺伝子変化を調べ、一人ひとりの特徴に合わせた効果的な治療法を探るがんゲノム医療への期待が高まる中、必要とする県民に十分に対応できる体制を早期に構築する。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和5年度(2021年度～2023年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
がんゲノム医療の体制整備への支援	県がん診療連携拠点病院である佐賀大学医学部附属病院に対するがんゲノム医療体制整備費用の補助 ・対象経費:専門医等の人材配置・育成に要する経費 ・補助率:1/2	8,143
がんゲノム医療の普及啓発	県民に対するゲノム医療の理解促進 等	2,552
合計		10,695

主要事項

健康福祉部(男女参画・こども局)

(単位:千円)

事項名	少子化対策推進事業費	予算額	12,344	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 さがウェディングストーリー発信事業費	一般財源	12,344	180	こども未来課

- 1 目的 結婚や家族の魅力を伝え、結婚への機運醸成を図る。
- 2 背景 新型コロナウイルス感染症の影響により、「結婚したい」と思う機会となる結婚式の延期やキャンセルが増加し、婚姻件数の更なる減少が見込まれる。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度(2021年度)  
(2)事業概要

区分	内容	予算額
コンテストの開催	家族や結婚式にまつわるエピソードコンテストの開催	3,650
情報発信	エピソードをもとにした映像の制作及びメディアを活用した発信等	8,694
合計		12,344

主要事項

健康福祉部(男女参画・こども局)

(単位:千円)

事項名	新規 幼児教育推進体制の充実・活用強化事業費	予算額	15,986	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	保育幼児教育センター推進体制強化事業費	一般財源	7,993	338	こども未来課

- 1 目的 保育幼児教育センターを開設し、県内の保育所・幼稚園・認定こども園等に対する支援体制を強化することにより、保育・幼児教育の質の向上を図る。
- 2 背景 幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、また、近年特別な配慮を必要とする子どもへの細やかな対応が求められている状況を踏まえ、人材の資質及び専門性を向上させる。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)  
(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳	
			国庫	一般財源
保育・幼児教育の推進に関する体制の整備	幼児教育スーパーバイザー(1名)の配置	2,885	1,442	1,443
保育所、幼稚園、認定こども園等への訪問支援	・保育や教育の進め方に関する助言等を行う幼児教育アドバイザーの育成研修 ・幼児教育アドバイザーの派遣	10,684	5,342	5,342
保育・幼児教育の研修の充実	・研修の体系化、充実 ・小学校との円滑な接続の推進 等	2,417	1,209	1,208
合計		15,986	7,993	7,993

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む



主要事項

健康福祉部(男女参画・こども局)

(単位:千円)

事項名	母子家庭等自立促進対策事業費	予算額	1,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 養育費確保支援事業費	一般財源	500	182	こども家庭課

1 目的 養育費の履行確保を促進するモデル事業を実施することにより、ひとり親家庭の生活の支援につなげる。

2 背景 ひとり親家庭は元配偶者から養育費を受けている割合が低いことから、養育費の履行確保を促進する。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳	
			国庫	一般財源
公正証書等の作成支援	養育費に関して取り決めた公正証書等を作成する際の本人負担に対する補助 ・対象者:離婚前後の父母 ・補助上限額:5万円/人	500	250	250
養育費保証の支援	養育費保証契約を保証会社と締結する際の本人負担費用(初回保証料)に対する補助 ・対象者:養育費の受給者 ・補助上限額:5万円/人	500	250	250
合計		1,000	500	500

主要事項

健康福祉部(男女参画・こども局)

(単位:千円)

事項名	子育て支援事業費	予算額	20,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 ママの毎日をアプリで応援事業費	一般財源	20,000	184	こども家庭課
1 目的	フィンランドの「ネウボラ」(※)を研究し、母親が抱える様々な悩みをいつでも相談できるアプリを活用した支援体制を整備することにより、出産・子育ての環境の充実を図る。				
2 背景	市町においては母親の支援を行う専門職員が配置されているものの、妊娠期から出産後までの母親との接点が少ない状況にあることから、妊娠期からのつながりを強化する。				
3 事業内容	(1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度) (2)事業概要				
	相談アプリを活用した支援内容		予算額		
	・母親の悩みに専門職員等が助言する機能 ・助産師などによるオンライン相談の実施 ・お知らせ機能(健診の案内、子育て支援情報等) ・アンケート機能(状態把握、災害時のニーズ把握等)		20,000		
	(※)「ネウボラ」:フィンランド発の妊娠期から出産、就学前にかけて母子とその家族を対象とした切れ目ない支援制度。自治体が妊婦健診も行き、妊娠期から子どもの就学前まで、担当の保健師が子育てに関する相談にワンストップで対応する。				
40					

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	起業支援・新市場創出事業費	予算額	128,763	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 産業DX啓発推進事業費 プログラミング人材拡大推進事業費	一般財源	128,763	281	産業政策課 (DX・スタートアップ推進室)

1 目的 県内企業が産業DXをリードする存在となれるよう、企業間マッチングの推進や事業実証の支援などを行うとともに、DXの推進に必要なプログラミング人材の確保を図る。

2 背景 県内企業におけるDXの取組は未だ意欲や関心ある企業など「点」に留まっており、裾野の拡大に取り組む。また、DXに取り組む企業を増加させるため、人材不足が顕著なプログラミング人材の育成・確保を推進する。

3 事業内容 (1)事業期間 産業DX啓発推進事業 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)  
プログラミング人材拡大推進事業 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区 分		内 容	予 算 額
産業DX啓発推進事業	産業スマート化センターにおける取組	産業スマート化センターによる相談対応やアウトリーチ活動及びメディアやSNSを用いた戦略的な啓発活動の推進	55,653
	DX推進補助金	先導的なチャレンジを促す技術導入事例に対する補助	25,060
プログラミング人材拡大推進事業		体験講座、プログラミング人材講座などを通じた人材の育成・確保と、県内企業との交流の機会提供や学習コミュニティの形成	48,050
合 計			128,763

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	起業支援・新市場創出事業費	予算額	92,733	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 Startupの聖地SAGA推進事業費 資金調達支援事業費	一般財源	87,733	281	産業政策課 (DX・スタートアップ推進室)

1 目的 起業家の発掘から育成、事業規模の拡大まで一貫した支援の仕組みを創設することにより、「佐賀から全国や世界を狙う事業者」を輩出する「起業の聖地」を目指す。

また、地方では特に困難な資金調達について支援策を講じ、取組の実効性をより高める。

2 背景 地域経済の持続的成長・発展のためにはスタートアップの掘り起こしと育成が不可欠であることから、県内支援機関やインキュベート施設等との更なる連携の下、ビジネス支援の専門家やベンチャーキャピタル(※1)など支援の選択肢を増やすための仕組みや仕掛けづくりに取り組む。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
Startupの聖地SAGAの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンズオン(※2)のスタートアップ育成プログラムの提供</li> <li>・スタートアップ発掘・支援員の配置</li> <li>・ビジネスプランコンテストの開催</li> <li>・選抜した有望な起業家へのシードマネー(※3)に対する補助</li> <li>・九州山口ベンチャーマーケットの各県との共同開催</li> </ul>	62,764
資金調達への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドファンディングの活用支援</li> <li>・ベンチャーキャピタルなどからの投資誘致</li> <li>・ファイナンスに関するセミナー及び個別の育成支援</li> </ul>	29,969
合計		92,733

※1 ベンチャーキャピタル:個人投資家や機関投資家、事業会社などから集めた資金を、高い成長が見込まれるベンチャー企業に提供する投資会社。

※2 ハンズオン:支援先スタートアップの発達段階に応じた支援ニーズや経営課題に対して、最適な支援を提供すること。

※3 シードマネー:事業アイデアを実現するための資金。

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	地域産業支援対策事業費 技能向上対策費 産地再生支援事業費	予算額	20,134	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 新規 新規 ものづくり企業技能承継支援事業費 次世代ものづくりびとステップアップ支援事業費 伝統工芸を未来につなぐ技のたすき事業費	一般財源	15,884	282・223・274	ものづくり産業課 産業人材課 流通・貿易課

1 目的 ものづくり分野における技能承継を支援することにより、企業の発展、事業の継続を図る。

2 背景 ものづくり分野の持続的な成長を図るために、技能承継に係る諸課題の解決に取り組む。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳		担当課
			国庫	一般財源	
AIを活用した技能承継	AI技術を活用した技能承継に関する取組を行う事業者に対する補助 ・補助率:2/3以内 ・補助上限額:300万円/事業者	9,080	—	9,080	ものづくり産業課
若手技能者の育成・確保	熟練技能者による実践的な指導や技能検定の事前講習 対象者:技能競技大会の出場選手、技能検定を受検する専門学科高校生	2,554	—	2,554	産業人材課
伝統的地場産品の後継者確保	・伝統的地場産品の技術やノウハウの映像制作 ・後継者確保のための情報発信及び交流機会の創出	8,500	4,250	4,250	流通・貿易課
合計		20,134	4,250	15,884	

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	コスメティック構想推進事業費	予算額	24,105	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 コスメ技術開発・人材育成拠点整備事業費	一般財源	24,105	141	ものづくり産業課 (コスメティック構想推進室)

1 目的 化粧品に関する新たな技術を開発するとともに、美容・健康業界で活躍できる人材を育成する環境を整備することにより、美と健康に関するコスメティック産業の集積を図る。

2 背景 コスメティック構想(※)を実現するため、産学官連携による技術開発・研究体制の整備と美容・健康産業の専門人材の育成を推進する。

3 事業内容 化粧品の先端技術の研究分野において実績のある専門家を招聘し、共同研究や人材育成のために以下の取組を行う。

(1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
次世代化粧品に関する技術開発・研究	・佐賀大学との共同研究講座の開設 ・県内外企業と化粧品に関する共同研究の実施	23,607
人材育成プログラム	JCCと佐賀大学との連携による県内の学生や社会人を対象とした、専門人材育成プログラムの開発・実施	498
合計		24,105

※コスメティック構想:フランスのコスメティックバレーと唐津市による協力連携協定を活かして、唐津市と玄海町を中心に美と健康に関するコスメティック産業の集積を図り、成長するアジアのコスメ拠点となる。

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	産業人材確保プロジェクト事業費		予算額	9,000	予算説明書頁		課名 (室名)	
細事項名	新規	県内企業住居支援促進事業費	一般財源	9,000	222	産業人材課		
1 目的	高卒者採用のために住居支援制度を新設する県内企業を支援することにより、高校生の県内就職の促進を図る。							
2 背景	高校生に求人を出す多くの県外企業は、寮などの住居支援制度を有していることから、県内企業においても住居支援制度を充実させ、高校生が県内就職しやすい環境を整備する。							
3 事業内容	(1)事業期間 令和3年度～令和6年度(2021年度～2024年度)							
	(2)事業概要							
			内 容			予算額		
			住居支援制度を新設し、通勤圏外から高校卒業後3年以内の者を採用した企業に対する補助			9,000		
			【補助額】 住居手当や寮の管理費など住居支援に必要な経費の2/3以内 (新設した住居支援制度を適用する高卒採用者1人当たり月額15,000円を上限)					
			【補助期間】 2年間					
				45				

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	商工業対策推進活動事業費	予算額	22,658	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 食材と器と料理人が織りなす食文化創造事業費	一般財源	608	281	流通・貿易課

- 1 目的 県内料理人等の育成・支援を通じ、本県の重要な資源である「食材」と「器」の付加価値を高めることにより、販路拡大を図るとともに、県民がその価値を再認識することで、食文化の創造につなげる。
- 2 背景 こだわりのある食材や器づくりに取り組む生産者、窯元等が多いことから、これらの魅力を最大限に表現できる料理人を育成するとともに、県内外に発信する。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)  
(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳		
			国庫	基金	一般財源
食と器のネット ワークづくり	○サガマリアージュ(※)ラボ 県内料理人、生産者、窯元等で構成する研究会によるワークショップや ビジネスマッチングツアーの開催 ○USEUM SAGA 2021 人間国宝等の器を使ったトップシェフとのポップアップレストランの開催 ○サガマリアージュトライアル 有田焼等の器の購入・レンタルを行う県内料理人に対する補助 (補助率:1/2、補助上限額:30万円/店舗)	13,865	-	13,865	-
次世代料理人 の育成	○サガマリアージュアカデミー 料理人を志す学生や若手料理人に対するトップシェフの特別講義 等	8,793	2,050	6,135	608
合 計		22,658	2,050	20,000	608

※サガマリアージュ:佐賀県の魅力ある地域資源(食材や器など)を料理人の感性で調和させ磨き上げることにより、新しい価値を創造し、佐賀県の存在価値を高めていくこと。



主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	園芸農業総合対策事業費 基盤整備促進事業費	予算額	1,351,306	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	さが園芸生産888億円推進事業費 基盤整備促進事業費	一般財源	980,019	237・250・251	園芸課 農地整備課

1 目的 先進的経営による所得向上や意欲ある新規就農者の確保・育成、経営力のある経営体や産地の育成などを推進することにより、園芸農業産出額の向上を図る。

なお、本事業の推進により、令和10年度までに園芸農業産出額を888億円とすることを目指す。

2 背景 農家の高齢化や産地の縮小が進行する中、本県農業を発展させるため、農業産出額の約半分を占めており、多くの農家の経営の柱となっている園芸農業の振興に取り組み、「稼げる農業」を確立していく。

3 事業内容 (1)事業期間 令和元年度(2019年度)～

(2)事業概要

区分	内容	予算額	担当課
園芸農業の振興	さが園芸888運動の展開	9,593	園芸課
施設・機械整備、 取組への支援等	・園芸用施設・機械の整備に対する助成 (中山間地域の県費補助率 50%)【拡充】 ・収量・品質の向上や新たな産地づくりに向けた取組に対する助成 ・農業公社が行う施設園芸団地の整備・運営に対する助成【新規】	1,240,457	園芸課
新品種・新技術の 開発等	・「いちごさん」の高収量、高品質生産技術の確立 ・大規模栽培に適したきゅうり環境制御技術の開発 ・中晩柑新品種「佐賀果試35号」の振興 等	50,144	園芸課
農地等の生産基 盤の整備	「園芸産地888計画」の実現に必要な農地の基盤整備に対する助成	51,112	農地整備課
合 計		1,351,306	

主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	保安林施設管理事業費	予算額	20,260	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 九年庵保存活用推進費	一般財源	15,845	263	森林整備課

1 目的 九年庵を保存・整備することにより、本県の貴重な地域資源として後世に引き継ぐとともに、観光資源としての活用を図る。

2 背景 九年庵は、老朽化が進んでいるものの観光資源としての価値が高いことから、文化財として保護することと併せ、幅広く利活用していく。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳	
			国庫	一般財源
保存活用計画の策定	計画策定に向けた検討委員会の設置	6,000	1,000	5,000
検討委員会の基礎データ収集	・苔庭再生のための苔の補植の実証実験 ・建物利用のための耐震診断、評価等	14,260	3,415	10,845
合計		20,260	4,415	15,845

主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	漁家経営改善支援事業費	予算額	18,600	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 唐津ん魚FAN拡大事業費	一般財源	18,600	269	水産課

1 目的 玄海産水産物の消費喚起キャンペーン等を実施し、県内の飲食店における取扱量を増加させることにより、需要の拡大を図る。

2 背景 県内における水産物の流通量は他県産が大半を占めていることから、玄海地区の漁家経営を改善するため、玄海産水産物の消費を喚起する。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
飲食店に対する支援	県内の飲食店における玄海産水産物の新規導入・転換	5,000
消費喚起キャンペーン	・「唐津ん魚こだわりの店(仮称)」(※)のPR ・WEB等による広告、販売促進資材の制作	13,600
合計		18,600

※「唐津ん魚こだわりの店(仮称)」:玄海産水産物の鮮度や品質の良さなどの魅力を正しく伝えることができる飲食店等

主要事項  
 県土整備部

(単位:千円)

事項名	公園維持管理費	予算額	37,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	エンジョイパーク吉野ヶ里「子育てし大“券”」事業費(拡充分)	一般財源	37,000	312	都市計画課

1 目的 吉野ヶ里歴史公園が持つ「OPEN-AIR」の強みを最大限に活かし、子育て世帯をメインターゲットとしたプロモーションを行うことにより、県内や福岡都市圏等からの交流人口の増加を図る。

2 背景 吉野ヶ里歴史公園の開園20周年を契機に、吉野ヶ里・神埼エリアへのさらなる交流人口の増加につなげていくプロモーションを実施する。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度(2021年度)

(2)事業内容

区分	内容	予算額
キックオフ・イベントの開催	フラワーウォールの制作・除幕式の開催 等	37,000
子どもたちをターゲットとしたイベントの開催	・デイキャンプの開催 ・バスケットボール、BMX、ボルダリング体験などのスポーツイベントの開催 等	
情報発信	映像コンテンツ、パンフレット、SNSを活用した情報発信	

主要事項  
 県土整備部

(単位:千円)

事項名	新規 流域治水推進事業費	予算額	20,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	流域治水推進事業費	一般財源	20,000	303	河川砂防課

- 1 目的 河川流域全体の関係者が協働し、水害を軽減させる流域治水対策の構築を図る。
- 2 背景 豪雨災害の激甚化・頻発化などの水害リスクに対応するため、流域治水の考え方に基づき、河川管理者(国、県)による河川整備に加え、市町を含めた流域の関係者が、地域特性に応じた様々な対策を実践的に進める。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)  
 (2)事業概要

内 容	予算額
市町が実施する流域治水に関する調査に対する補助(補助率:1/2以内) ・浸水被害等の要因分析(内水解析等)による課題の定量的把握 ・流域治水対策の検討(既存施設活用の可能性検討含む。) ・対策実施後の効果検証 等	20,000

主要事項  
教育委員会事務局

(単位:千円)

事項名	校舎等施設整備費	予算額	114,747 (債務負担) 95,332	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 特別支援学校整備事業費(中原特別支援学校) (債務負担行為)特別支援学校整備事業費(中原特別支援学校)	一般財源	114,747 (債務負担)95,332	349 (その1)18	教育総務課

- 1 目的 児童生徒数の増加が著しい中原特別支援学校に仮校舎を設置し、教育環境の改善を図る。
- 2 背景 中原特別支援学校は児童生徒数の増加により既に教室不足の状況にあり、今後も児童生徒数の増加が見込まれるため、教室不足の解消に取り組む。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和7年度(2021年度～2025年度)  
(2)事業概要

区 分	年度別事業費					合 計
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
中原特別支援学校本校	99,735	-	-	-	-	99,735
仮校舎基本・実施設計、地質調査、家屋調査等、プール解体	99,735	-	-	-	-	99,735
中原特別支援学校鳥栖田代分校	15,012	23,833	23,833	23,833	23,833	110,344
仮校舎基本・実施設計、地質調査、文化財調査	13,026	-	-	-	-	13,026
仮校舎リース	1,986	23,833	23,833	23,833	23,833	97,318
合 計	114,747	23,833	23,833	23,833	23,833	210,079

債務負担行為限度額

- (3)債務負担行為を設定する理由  
中原特別支援学校鳥栖田代分校の仮校舎のリースについて、令和3～7年度の複数年度にわたって契約する必要があるため、債務負担行為を設定するもの。

主要事項  
教育委員会事務局

(単位:千円)

事項名	新規	学校教育情報化推進事業費 プロジェクトEプラス推進事業費	予算額	31,671	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 新規 新規 新規	プロジェクトEプラス市町展開サポート事業費 GIGAスクール構想支援事業費 小・中・高を通じた英語教育強化事業費 オンライン教育環境整備事業費	一般財源	27,171	333・334	教育総務課 学校教育課

- 1 目的 授業や学校運営など教育活動全体のデジタル化を推進することにより、未来に向けて新しい価値を生み出していく人材を育てる。
- 2 背景 子どもたち一人ひとりの学びや創造性を育む学びの機会を充実するため、教育活動のデジタル化が求められている。
- 3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～令和4年度(2021年度～2022年度)  
(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳		担当課
			国庫	一般財源	
オンライン教育の環境整備	オンライン授業のための支援員を配置 等	13,474	-	13,474	学校教育課
デジタル教材を活用した英語教育の強化	・英語学習デジタル教材の作成 ・小・中・高の枠を超えた英語授業改善のための合同研究	15,339	4,500	10,839	学校教育課
市町への支援	・教員に対する研修の開催 ・市町教育委員会に対する技術的助言 等	2,858	-	2,858	教育総務課 学校教育課
合計		31,671	4,500	27,171	

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項  
教育委員会事務局

(単位:千円)

事項名	職員給与費	予算額	178,651	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	職員給与費(小学校3年生における少人数学級の導入)	一般財源	178,651	329	教職員課
1 目的	小学校において、よりきめ細かな指導のための環境を整備することにより、一人ひとりの成長をサポートし、夢や目標を実現しようとする子どもたちを応援する。				
2 背景	小学校低学年はもとより、きめ細やかな指導を行うことができる少人数学級を実施していく。				
3 事業内容	(1)事業期間 令和3年度(2021年度) (2)対 象 小学校3年生 (3)配置基準 1クラスあたりの児童数が36人以上の学校に教員を県独自に加配 令和3年度配置予定校数: 23校(令和3年1月時点) (4)配置教員数 23名(職員給与費)				
54					



主要事項  
教育委員会事務局

(単位:千円)

事項名	高等学校整備推進費	予算額	12,302	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 SAGAハイスクールプロモーション事業費	一般財源	12,302	333	教育振興課

1 目的 県内の高校の特色や魅力を磨き上げ、積極的かつ効果的に情報発信することにより、県内外からの進学を促進し、唯一無二の誇り高き学校づくりを推進する。

2 背景 生徒の減少や県外の高校への進学が増加等による県立高校の小規模化や志願者の減少に歯止めをかけるため、県内外からの進学を促進する。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
広報・情報発信の強化	・進学説明相談会の開催 ・高校受験ガイド(仮称)の作成 ・広報セミナーの開催	10,658
全国からの生徒募集の促進	特色ある高校における県外募集を行う高校のネットワークを活用した生徒募集	1,644
合計		12,302

主要事項  
教育委員会事務局

(単位:千円)

事項名	SAGA「志」育成費	予算額	4,319	予算説明書頁		課名 (室名)				
細事項名	新規 SAGAマイスターハイスクールプロジェクト推進費	一般財源	4,319	334		学校教育課				
1 目的	県内工業系高校で、ロボット技術に関する教員の指導力向上及び生徒の技術習得に重点的に取り組むことにより、産業のデジタル化に対応した人材育成を図る。									
2 背景	県内企業の生産現場ではデジタル化に対応した産業用ロボットの導入が進められており、デジタル化に対応した産業教育が求められている。									
3 事業内容	(1)事業期間 令和3年度～令和8年度(2021年度～2026年度)									
	(2)事業概要									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外部人材による技術指導 ・ロボット及びロボット競技コースの製作 ・全国産業教育フェア佐賀県大会の開催準備(※) 等</td> <td>4,319</td> </tr> </tbody> </table>		内 容	予算額	・外部人材による技術指導 ・ロボット及びロボット競技コースの製作 ・全国産業教育フェア佐賀県大会の開催準備(※) 等	4,319				
内 容	予算額									
・外部人材による技術指導 ・ロボット及びロボット競技コースの製作 ・全国産業教育フェア佐賀県大会の開催準備(※) 等	4,319									
	※:ロボット競技全国大会は、全国産業教育フェア(専門学科等の生徒の学習成果を総合的に発表する場)において、年1回開催されており、令和8年度には佐賀県で開催。									
56										

主要事項  
教育委員会事務局

(単位:千円)

事項名	学校体育指導費	予算額	3,543	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 部活動改革推進プロジェクト事業費	一般財源	729	364	保健体育課

1 目的 学校と地域の連携により、生徒・教職員にとって望ましい、持続可能な部活動の実現を目指して部活動改革を推進する。

2 背景 少子化への対応、活動の適正化、教員の働き方改革等の課題がある中で、生徒・教職員の双方にとって望ましい、持続可能な部活動の在り方が問われている。

3 事業内容 (1)事業期間 令和3年度～(2021年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳	
			国庫	一般財源
部活動の在り方を検討	検討会開催、現状及び課題の分析 等	729	-	729
モデル事業の実施	休日における部活動の段階的な地域移行に向けたモデル事業の実施(2市町)	2,814	2,814	-
合計		3,543	2,814	729

主要事項  
警察本部

(単位:千円)

事項名	庁舎等施設整備費	予算額	86,332	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	交番・駐在所建設費	一般財源	3,332	323	施設装備課

1 目的 都市計画や道路拡幅工事に伴い、交番・駐在所を移転改築することにより、地域住民の安全・安心の確保を図る。

2 背景 地域を取り巻く環境の変化に対応した移転改築を行い、地域住民の安全・安心な暮らしを守る。

3 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和5年度(2020年度～2023年度)

(2)事業概要

施設名	内容	予算額
諸富交番	・交番敷地の購入 ・移転改築工事の設計	35,336
武雄温泉駅前交番	移転改築工事の設計	3,134
東与賀駐在所	移転改築工事	47,862
合計		86,332

※上記の交番及び駐在所は所在地から近隣に移転。

# 新型コロナウイルス感染症・緊急経済対策一覧

(単位:千円)

項目	概要	予算額		担当課	
		総額	一般財源		
1. 感染拡大防止策と医療提供体制の整備	国際大会事前キャンプ誘致推進事業費	東京2020大会事前キャンプ地における選手等受入れ時に実施する新型コロナウイルス感染症対策	137,815	0	スポーツ課
	新型コロナウイルス感染症緊急対応費	感染症拡大により発生する資機材不足などに機動的に対応するための経費	200,000	0	福祉課
	健康福祉部会計年度任用職員給与費	医務課、保健福祉事務所、衛生薬業センター及び精神保健福祉センターの対応職員を増員	59,085	9,442	福祉課
	感染対策用品購入事業	医療機関、保育所等に対し、感染防止のためにマスク・消毒液を供給	115,321	38,477	福祉課、長寿社会課、障害福祉課他
	感染症防止対策等事業	介護・障害者・児童福祉施設等における感染症対策に要するかかり増し経費(対策物品の購入など)に対する補助	70,845	9,129	長寿社会課、障害福祉課、こども家庭課
	感染症対策環境整備事業	医療機関への設備整備支援、入院勧告を行った患者にかかる医療費の公費負担、受診・相談センターへの相談窓口業務委託	128,455	42,191	障害福祉課、健康増進課
	新型コロナウイルス感染症対応病床確保(プロジェクトM)	感染症患者受入医療機関及び疑い患者受入協力医療機関への空床補償、軽症・無症状者の宿泊療養施設の借上・運営等	11,369,000	0	医務課
	医療提供体制整備費	宿泊療養施設看護師の報酬増額、宿泊療養施設へのロボット導入等	98,716	37,600	医務課
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	ワクチン接種に関するコールセンターの設置、ワクチン接種体制に関する広報	23,886	0	健康増進課
	感染症検査体制整備事業	PCR検査・抗原検査の保険適用の自己負担分を公費負担、衛生薬業センターの検査室整備	422,662	203,816	健康増進課
	幼稚園園務改善のためのICT化支援事業費補助	幼稚園における、教諭等の業務負担軽減のためのICT化支援システム導入に対する支援	3,944	0	こども未来課
	妊婦の新型コロナウイルス検査等事業費	分娩前の不安を解消するため、希望する妊婦にPCR検査の実施を支援	17,308	0	こども家庭課
	県立特別支援学校スクールバス感染症対策事業費	特別支援学校スクールバスの大型化・復便化	38,796	19,399	教育振興課
	スクール・サポート・スタッフ配置事業費	児童生徒の感染症対策等を行うスクール・サポート・スタッフを県立学校へ配置及び配置する市町に対する支援	72,906	43,862	教職員課
小計		12,758,739	403,916		

# 新型コロナウイルス感染症・緊急経済対策一覧

(単位:千円)

項 目		概 要	予 算 額		担当課
			総額	一般財源	
2. 雇用の維持と 事業の継続	中小企業事業資金貸付金	中小企業者の資金繰りを支援するための利子補給及び保証料補助等	79,224,632	5,659	産業政策課
	一時借入金利子	制度融資に係る一時借入金利子	9,600	0	会計課
	小 計		79,234,232	5,659	
合 計			91,992,971	409,575	

子育てし大県“さが”プロジェクト事業一覧(令和3年度当初)

(単位:千円)

区分	新規 拡充	細事項名	所属名	予算額	事業概要(拡充したものはその概要)	
					うち一般財源	
出会い・結婚 の支援	拡充	縁カウンターさが事業費	こども未来課	51,595	51,595	「さが出会いサポートセンター」を設置し、登録会員同士の1対1のお見合い事業を実施するとともに、企業等へ働きかけを行い、職場のつながりを活かした結婚支援を推進する。 令和3年度は、出会いサポートセンターにオンラインでお相手の検ができるシステムを導入する。
	新規	さがウェディングストーリー発信事業費	こども未来課	12,344	12,344	結婚や家族の魅力を伝え、結婚への機運醸成を図る。
	新規	若者のライフデザインに関する意識調査事業費	こども未来課	2,720	2,720	少子化対策等の施策立案の基礎データとして活用するため、若者に対しアンケート調査を行う。
妊娠・出産の 支援	拡充	小児・AYA世代がん患者等妊孕性温存治療助成費	健康増進課	4,973	2,849	小児・AYA世代(※)のがん患者等に対し、がん治療に伴う妊孕性温存治療の費用の一部を助成することで、将来的に子どもを産み育てることができるという希望を持って治療することができる環境を整備する。 令和3年度は助成の対象や金額などを一部拡充する。 ※15～39歳の思春期・若年成人の世代。
	拡充	不妊治療支援事業費(令和2年度国3次補正安心こども基金)	こども家庭課	338,300	169,151	不妊治療を希望しているにもかかわらず、経済的負担を感じている夫婦に対し、治療費の一部を助成する。 令和3年1月治療終了分から所得制限の撤廃、助成回数、助成対象要件を拡充するとともに、助成上限額の引上げを行うことで、更なる負担軽減を図る。
	新規	ママの毎日をアプリで応援事業費	こども家庭課	20,000	20,000	県内で安心して子育てできる環境を整備するため、母親向け相談アプリと連携した新たな機能開発や、オンライン相談を実施する。
子育て・自立 への支援	拡充	自然体験活動指導者養成事業費	まなび課	929	929	子どもたちが安心して自然体験活動ができる場を提供するため、自然体験活動指導者(NEAL)資格取得を促進する。 令和3年度は、これまでの県立少年自然の家職員のNEAL資格取得促進に加えて、北山少年自然の家において県民を対象に専門的な知識・技術を持つNEALリーダーを養成する。
	新規	医療的ケア児安心・安全な在宅生活サポート事業費	障害福祉課	4,444	4,444	保護者等が悩みや困りごとを気軽に相談できる窓口の開設、在宅生活を送る上で必要な情報をまとめたガイドブックの作成・配布、その他、医ケア児の実態及びニーズの把握を行う。
	拡充	子育てし大県“さが”推進事業費	こども未来課	18,793	18,793	子育てに関する情報を集約した総合ポータルサイトの運営や、SNS、フリーペーパーを活用した広報等を実施する。 令和3年度は、子育てし大県“さが”ポータルサイトに子育て応援の店ホームページを統合改修し、情報の一本化を図る。また、オリジナル出生届を配布し、産まれてくる赤ちゃんを祝福することで、佐賀県で子育てしたいという機運の醸成を図る。
	新規	子育てし大県“さが”魅力発掘事業費	こども未来課	4,933	4,933	地域おこし協力隊の制度を活用し、佐賀ならではの子育て環境の魅力や地域資源を発掘し、地域資源のマッチングや新たな魅力・サービスの創出、それらの情報発信を行う。
	新規	養育費確保支援事業費	こども家庭課	1,000	500	ひとり親家庭の生活の支援につなげるため、公正証書等の作成及び養育費保証契約に要する経費の一部を助成する。
	新規	”子どもの居場所”で地域づくり推進事業費	こども家庭課	3,071	3,071	子どもの居場所市町設置促進員が未設置市町を訪問し、居場所の新規開設に向けた働きかけを行うとともに、市町と居場所開設希望者とのマッチング支援等を行う。
	拡充	チーム司書ネットワーク等推進事業費	まなび課	18,220	18,220	新刊児童書等の活用・広報や、県立図書館司書を中心とした市町図書館司書とのネットワークの運営を行う。 令和3年度は、県立図書館のホームページの一部改修や、新刊児童書一括貸出等を拡充する。
	拡充	グローバル社会で生きぬくSAGA人材づくり事業費	教育振興課	73,109	68,769	国際的な視野を持ち、外国語によるコミュニケーション能力を備えたグローバル人材を育成する。 従来は中高生を対象としていたが、小学校の外国語科導入に伴い、令和3年度から小学校高学年も対象に加える。また、新たにオンラインによる国際交流を実施する。
	新規	保育幼児教育センター推進体制強化事業費	こども未来課	15,986	7,993	保育幼児教育センターを開設し、幼児教育に関する専門的知見や豊富な実践経験を有する人材を配置するほか、幼児教育アドバイザーによる保育所等への助言、研修の充実のための取組を実施する。
	拡充	佐賀県就活サポート事業	産業人材課	7,348	1,837	再就職への不安を持つ子育て世代の女性を対象とし、就活フェスタ等を開催する。 令和3年度は、就活フェスタ後の継続支援を拡充する。
拡充	次世代働き方改革モデル実践事業費	産業人材課	8,343	8,343	県内企業に広くワーク・ライフ・バランスの周知・助言を行う。令和3年度は、専門家による課題解決の個別支援を行うとともに、取組事例を広く情報発信することで、働きやすい職場環境づくりの推進を図る。	
合計				586,108	396,491	